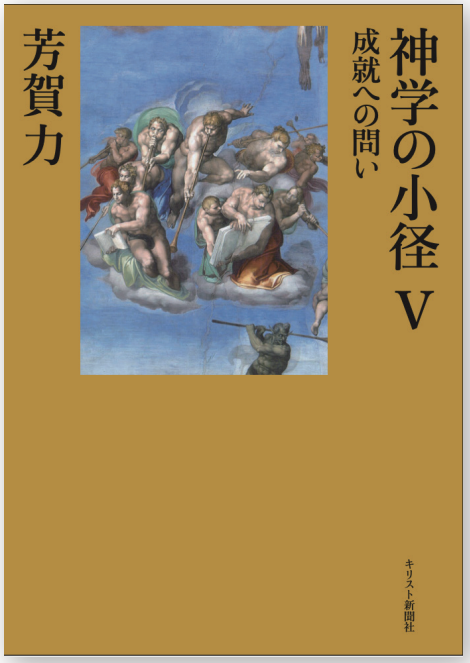
神学の小径V　成就への問い



芳賀力（東京神学大学教授、学長）［著］

「物語る教会教義学」シリーズ最終巻、ここに堂々完結！

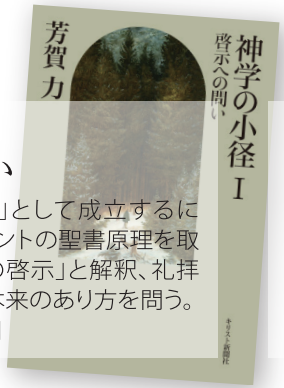
中間時を生きるわたしたちは、否定的なものに囲まれてもなお希望を抱くことができる！
生命、労働、結婚、政治、教会、神の国……。
私たちの歩みのすべてを、終末から降り注ぐ光のもとで物語るシリーズ最終刊。

目　次

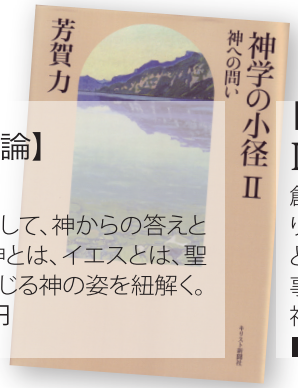
第1章 否定的なものに囲まれても、なお
第2章 キリスト教的〈信〉の経験
第3章 救済史の担い手
第4章 キリストの体
第5章 神のインスティテューション— エクレシアと霊的制度
第6章 聖徒の交わり— 見える教会と見えない教会
第7章 共同体の祝祭— 説教とサクラメント
第8章 義認と聖化— 福音と律法
第9章 歴史形成の論理
第10章 開始された終末論
第11章 キリスト者の自由(1)— 身体と生命
第12章 キリスト者の自由(2)— 労働と文化
第13章 キリスト者の自由(3)— 結婚と家庭
第14章 キリスト者の自由(4)— 国家と政治
第15章 キリスト者の自由(5)— 教会と礼拝
第16章 大いなる安息— 永遠の命
第17章 神の国という究極のビジョン

A5判・上製・434頁、定価5,500円（本体5,000円＋税）　ISBN978-4-87395-813-2　C0016（日キ販）

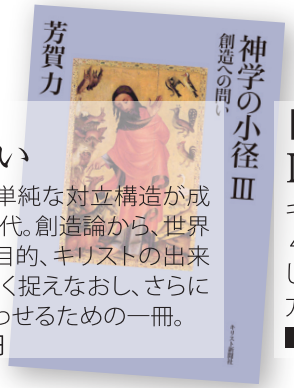
シリーズ既刊



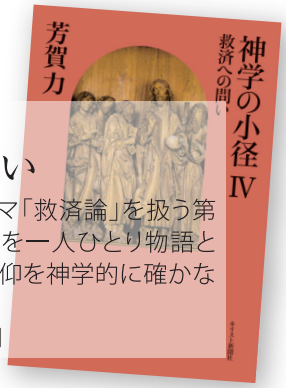
【聖書論】
I 啓示への問い
なぜ聖書が「神の言葉」として成立するに至ったのか。プロテスタントの聖書原理を取り下げることなく、「神の啓示」と解釈、礼拝共同体としての教会の本来のあり方を問う。
■A5判・356頁・3,850円



【神論／三位一体論】
II 神への問い
人間の神への問いに対して、神からの答えとしての「三位一体論」。神とは、イエスとは、聖霊とは。わたしたちの信じる神の姿を紐解く。
■A5判・440頁・4,950円



【創造論】
III 創造への問い
創造信仰と自然科学の単純な対立構造が成り立たなくなっている現代。創造論から、世界と人間の存在の根拠と目的、キリストの出来事を開示。福音をより広く捉えなおし、さらに福音伝道へと立ち向かわせるための一冊。
■A5判・440頁・4,950円



【救済論】
IV 救済への問い
キリスト教の中心テーマ「救済論」を扱う第４巻。神の救いの物語を一人ひとり物語とし、キリスト者の救済信仰を神学的に確かな方向に導く案内図。
■A5判・418頁・4,730円